意見書案第　５６　号

「ヒロシマ・ナガサキ議定書」のＮＰＴ再検討会議での採択に向けた取り組みを求める意見書

上記意見書案を別紙のとおり提出いたします。

平成２２年３月１９日提出

提出者　長沼町議会議員　　粟　木　睦　男
賛成者　　〃　　山　本　克　己

長沼町議会議長　　駒　谷　広　栄　　様

「ヒロシマ・ナガサキ議定書」のＮＰＴ再検討会議で
の採択に向けた取り組みを求める意見書

２００９年９月、国連安全保障理事会首脳級特別会合において、鳩山首相は被爆国として核兵器廃絶の先頭に立つとの決意を明確に表明されました。また、日本政府が米国などと共同提案した核廃絶決議案についても、国連総会第１委員会で過去最多の国々の賛成で採択されるなど、日本政府の被爆国としての取り組みは一つひとつ成果を積み上げてきています。

国会及び政府におかれては、被爆国の政府として核兵器廃絶の取り組みをさらに確実なものにするために、平和市長会議が提案する２０２０年までに核兵器を廃絶するために各国政府が遵守すべきプロセスなどを定めた「ヒロシマ・ナガサキ議定書」の趣旨に賛同し、２０１０年ＮＰＴ再検討会議において、同議定書を議題として提案していただくとともに、その採択に向け、核保有国を初めとする各国政府に働きかけていただくよう強く要請します。

以上、地方自治法第９９条の規定により意見書を提出します。

平成２２年３月１９日

長沼町議会議長　　駒　谷　広　栄

提出先
衆　議　院　議　長
参　議　院　議　長
内　閣　総　理　大　臣　　各　　通

総　　務　　大　　臣
外　　務　　大　　臣